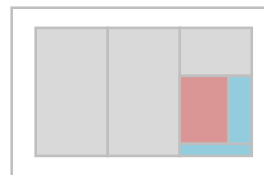


<2015 年度以降入学 2 年生対象>

2S2タームの成績表の見方について



(1) 必要単位数・取得単位数・不足単位数

「必要単位数」：進学選択が可能となる条件（必要な単位数）

- 1) 既修外国語・初修外国語（文科生・理科生）それぞれ平均点が 40 点以上
- 2) 初年次ゼミナール文科又は理科（文科生・理科生）2 単位
- 3) 社会科学（文科生）文科一・二類生：4 単位
文科三類生：2 単位
- 4) 人文科学（文科生）2 単位
- 5) 基礎実験（理科生）3 単位（任意選択科目除く）
- 6) 数理科学（理科生）理科一類生：6 単位
理科二・三類生：5 単位（任意選択科目除く）
- 7) 物質科学（理科生）
2015 年度入学者：6 単位（「力学」の 2 単位及び「熱力学」又は「化学熱力学」の 2 単位含む）
2016 年度以降入学者：「力学」2 単位、「熱力学」又は「化学熱力学」2 単位、「物性化学」2 単位
- 8) 生命科学（理科生）
2015 年度入学者（理科二・三類生）：2 単位
2016 年度以降入学者（理科一類生）：1 単位（「生命科学」1 単位の取得）／（理科二・三類生）：2 単位
- 9) 総合科目（文科生・理科生）文科一・二類生：11 単位（L 系列の 5 単位含む）
文科三類生：13 単位（L 系列の 5 単位含む）
理科生：8 単位（L 系列の 2 単位含む）
- 10) 総取得単位数（2016 年度以降入学者）文科生：46 単位／理科生：53 単位

※ 2S セメスター終了時で上記の該当する条件を満たしていない場合は、進学選択の対象とならず、2S セメスター終了時に自動的に降年となる。（2S1 ターム終了時（6 月）は、進学選択の対象か否かにかかわらず、第一段階の進学志望・不志望登録ができたが、今回（8 月）、進学選択の対象とならなかった場合は、当初志望登録していた内容は無効となる。）

※ 2S セメスター終了時の「必要単位数」とは、2A セメスター終了時までに必要な「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」ではないので注意すること。

「取得単位数」：科目区分ごとに取得した単位数（「基本平均点」の行における「取得単位数」については後述）

※ ただし、平均合格の科目の単位数は、実際に取得している単位数と異なる場合があります、平均合格の条件は加味されていない（2A セメスター終了時に反映される）

※ 平均合格科目（「既修外国語」、「初修外国語」、「身体運動・健康科学実習」）については、必要に応じて、『履修の手引き』に記載の平均合格の条件を参照し、各科目の成績を確認すること

「不足単位数」：必要単位数に対して取得単位数が足りなければ、不足した単位数が表示される

※ 外国語は平均点（40 点以上）が条件のため、条件を下回った場合でも不足単位数欄には表示されません。

※ 2S セメスター終了時の「不足単位数」とは、2A セメスター終了時までに必要な「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」に対して足りない単位数ではありませんので、A セメスターの履修時に十分注意してください。

（次ページに続く）

(2) 基本平均点・各科目区分の平均点

進学選択のため、以下の単位を重率 1 として計算した基本平均点及び単位数が表示される。
(実際の取得単位数とは異なる場合があるので注意すること)

	文一	文二	文三	理一	理二	理三
基礎科目						
既修外国語 ※1	5	5	5	5	5	5
初修外国語	6	6	6	6	6	6
情報	2	2	2	2	2	2
身体運動・健康科学実習	2	2	2	2	2	2
初年次ゼミナール文科	2	2	2	—	—	—
社会科学 ※2	8	8	4	—	—	—
人文科学 ※3	4	4	4	—	—	—
基礎実験 ※4	—	—	—	3	3	3
数理科学 ※4	—	—	—	12	10	10
物質科学 ※5	—	—	—	10	10	10
生命科学 ※6	—	—	—	1	4	4
総合科目 ※7 ※8	21	21	25	15	15	15
計 (取得単位数欄に記載★)	50	50	50	56	57	57

★「取得単位数」欄の最下部に上表の計に記載の単位数が記載されますが、現時点での実際の取得単位数とは異なります。(基本平均点を算出するために用いた、重率 1 で算入された単位数(上表の単位数)が表示されています。)なお、休学等により上表の計と異なる単位数が記載されている場合があります。

※1 英語・日本語以外を既修外国語として履修している場合は、6 単位で計算しています。

※2 社会科学は、科類の要件を含めて成績上位 8 単位(文三生は上位 4 単位)で計算しています。

※3 人文科学は、科類の要件を含めて成績上位 4 単位で計算しています。

※4 基礎実験および数理科学は、任意選択科目を除いた単位数で計算しています。

※5 総合科目は、文一・二生は成績上位 21 単位、文三生は上位 25 単位、理科生は成績上位 15 単位(いづれも系別の単位取得条件を含む)で計算しています。

※6 総合科目 D 系列「スポーツ・身体運動実習」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」、「スポーツ・身体運動実習Ⅰ(PEAK)」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ(PEAK)」については、基本平均点に算入されているのは、合わせて 2 単位までです。

※7 基本平均点計算において、重率 0.1 で計算される科目は、以下の科目です。

上記以外で 2S セメスターまでに単位取得した基礎科目

上記以外で 2S セメスターまでに成績が付与された人文科学ゼミナール・自然科学ゼミナール・総合科目(不合格科目を含む)

※8 基本平均点計算において重率 1 で計算した科目の横には「*」を表示しています。

(2 単位科目のうち 1 単位のみ算入する場合は科目の横に「#」を表示しています。)

なお、上記の単位のうち、「既修外国語、初修外国語、身体運動・健康科学実習」については、科目区分ごとの平均点が参考に表示されています。

進学選択が可能となるための
必要単位数・取得単位数・不足単位数

(例 文科一・二類)

科目区分	必要 単位数	取得 単位数	不足 単位数	平均点
基礎科目	8	23		
既修外国語		5		
英語		5		72.20
初修外国語		4		
スペイン語		4		38.33
初年次ゼミナール	2	2		
社会科学	4	6		
人文科学	2	2		
総合科目	11	13		
L系列	5	5		
合計	46	36	10	
基本平均点		50		53.86

外国語についてのみ、要件である平均40点を下回っても不足単位数には表示されません。この場合は、平均点が40点を下回っているため、進学選択が可能となる条件を満たしていません。
平均合格しているか否かについては、成績の原評価(9月下旬公開予定)を確認してください。(セメスター毎の平均合格条件も確認すること)

基本平均点計算に使用した単位数および2S セメスター終了時点での進学選択における基本平均点

(取得単位数は実際の取得単位数とは異なる場合がありますので注意してください。)

(例 理科二類)

科目区分	必要 単位数	取得 単位数	不足 単位数	平均点
基礎科目	18	44		
既修外国語		5		
英語		5		56.80
初修外国語		6		
フランス語		6		73.00
初年次ゼミナール	2	2		
自然科学	16	27		
基礎実験	3	3		
数理科学	5	12		
物質科学	6	10		
生命科学	2	2		
総合科目	8	9		
L系列	2	3		
合計	53	55		
基本平均点		57		57.11

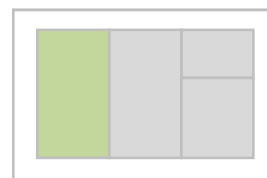
単位取得した基礎科目(情報、身体運動・健康科学実習を含む。)

平均合格の条件を満たしていない場合であっても、科目ごとに全体の平均点が50点以上であれば、取得単位数が5単位もしくは6単位と表示されるため、実際に取得している単位数とは異なる場合があります。『履修の手引き』を参照し、平均合格の条件を確認してください。

展開科目・主題科目を取得している場合は、その単位数を含みます。(この場合2単位分)

(3) 平均合格科目の表示

平均合格科目について、成績の原評価(点数)公開以降(9月下旬を予定)に、各自、平均合格を満たしているかを必ず確認すること。(⇒必要に応じて、2Aセメスターで必要な科目の履修をすること)



<平均合格科目とその条件> (次ページ計算例および『履修の手引き』p.41 参照)

※ 既修外国語(英語・日本語)単位数5単位: 条件1. かつ条件2.

条件1. 1Sセメスター(1S1ターム・1S2ターム)～1Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

条件2. 1Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

※条件1、条件2のいずれも単位数を加味した加重平均による。(次ページ計算例参照)

※ 既修外国語（英語以外）および初修外国語 単位数 6 単位：条件 3. かつ条件 4. かつ条件 5.

条件 3. 1 S セメスターの成績の平均が 40 点以上

条件 4. 1 A セメスターの成績が 40 点以上

条件 5. 1 S セメスター～1 A セメスターの成績の平均が 50 点以上

* なお、既修日本語を初修外国語相当で履修している場合もこの条件で考える。

※ 身体運動・健康科学実習 単位数 2 単位：（条件）2 つの実習の成績の平均が 50 点以上

<例>

科目	教員	開講期間	単位	成績
既修外国語				
英語			5	可
* 英語一列①	×× ××	17.04～17.06		優
* 英語一列②	×× ××	17.09～17.11		不可
* 英語二列W	×× ××	17.04～17.08		良
* 英語二列S	×× ××	17.11～18.01		欠席
初修外国語				
スペイン語			-2	-38
* スペイン語一列①	×× ××	17.04～17.08		可
* スペイン語一列②	×× ××	17.09～18.01		欠席
* スペイン語二列	×× ××	17.04～17.08		可
身体運動・健康科学実習			2	良
* 身体運動・健康科学実習	×× ××	2017		良
* 身体運動・健康科学実習	×× ××	2017		良

1 S セメスター～1 A セメスターの成績の平均が 50 点以上でも（既修英語の場合は）1 A セメスターの成績が不合格の場合、2 S もしくは 2 A セメスターに必要な科目を「他クラス聴講」により履修しなければいけないので注意すること。

この場合、5 単位「可」と表示されていますが、1 A セメスター科目が 50 点を下回っているため、

平均合格していません。

【注意！】

マイナス表示になっている場合、不足単位数と、平均合格に対する不足点を意味します。

この場合、平均合格に必要な 150 点（3 科目×50 点=150 点）に対し、38 点不足していることを表しています。

※「英語」は 1 単位科目と 2 単位科目（英語二列W）が混ざっているため、平均合格に必要な 250 点（5 単位×50 点）に対し何点不足しているかが表示されます。

※マイナス表示になっていない場合（「可」と表示されている場合）でも、平均合格していないケースがあるので留意すること。（上記参照）

平均合格の対象科目は、講義ごとの単位数は表示されません。

（例）以下のような成績の場合における平均合格の確認

※成績の原評価（点数）公開以降（9 月末頃を予定）に必ず確認すること。

必要に応じて次セメスターで必要な科目の履修をすること。

科目	開講期間	単位	成績
英語一列①	17.04～17.05(1S1)	1 単位	50 点
英語一列②	17.09～17.11(1A1)	1 単位	55 点
英語二列S	17.06～17.07(1S2)	1 単位	60 点
英語二列W	17.09～17.01(1A)	2 単位	43 点

◎条件 1.

1 S セメスター（1S1 ターム・1S2 ターム）～1 A セメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が 50 点以上

【計算式】

$$\frac{(50 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (60 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 50.2 \text{ 点}$$

◎条件 2.

1 A セメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が 50 点以上

【計算式】

$$\frac{(55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 47 \text{ 点}$$

この例の場合、条件 1 は満たしていても条件 2 を満たしていないので、平均合格はしていません。